令和8年度　社会福祉法人長寿の里

令和7年度実績	本部	施設部門(SS含む)	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計	前年比
サービス活動収益	50	2,030,845	325,744	364,734	9,200	202,836	60,554	2,993,963	107.1%
サービス活動費用	121,999	1,956,531	288,213	336,169	5,325	156,627	59,258	2,924,122	106.2%
サービス活動増減差額	△ 121,949	74,314	37,531	28,565	3,875	46,209	1,296	69,841	161.6%
経常増減差額	△ 121,382	46,920	37,531	28,565	3,875	46,209	1,296	43,014	248.7%
経常増減率	-242764.00%	2.3%	11.5%	7.8%	42.1%	22.8%	2.1%	1.4%	
稼働率実績									

部門ごとの売上目標達成度	
施設部門(SS含む)	■■■■■■■■■■
通所部門	■■■■■■■■■■
GH・ケアハウス部門	■■■■■■■■■□
居宅部門	■■■■■■■■■■
訪問部門	■■■■■■■■■■
小規模部門	■■■■■■■■□□

令和8年度予算	本部	施設部門(SS含む)	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計	前年比
サービス活動収益	50	2,027,704	328,886	360,709	10,020	200,769	63,614	2,991,752	107.4%
サービス活動費用	120,516	1,979,288	284,858	329,503	9,867	157,355	61,082	2,942,469	107.2%
サービス活動増減差額	△ 120,466	48,416	44,028	31,206	153	43,414	2,532	49,283	124.0%
経常増減差額	△ 119,669	29,795	43,956	31,206	153	43,413	2,532	31,386	264.5%
経常増減率	-239338.00%	1.5%	13.4%	8.7%	1.5%	21.6%	4.0%	1.0%	73.0%
稼働率目標									

基本方針	**継承　～For the next～**
年度目標	①生産性向上…人員配置2.5:1　CDCの運用　事務業務効率化 ②インターナショナルスタッフ(国際人材)の育成及びリーダー育成 ③法人基盤強化…世代交代をしながら法人基盤の更なる強化

重点目標と方策

NEXT50年に向けた新たな時代の扉を開く令和8年度の長寿の里は、『継承～For the next～』の基本方針のもと、次の時代、次の世代、次の地域の姿を見据え、これまでの強みをより磨き、新たなものを吸収して、さらなる進化への挑戦を続ける元気集団となります！

【収益力向上】
- ならしの共生クリニックやフォレストデンタル習志野と連携し医療の基盤整備を進めることで入院期間の短縮等による稼働向上
- 在宅事業推進として訪問介護の提供エリア拡大と居宅との連携、及び入居サービスへの相談窓口的な存在
- 新規事業等・・(千葉エリア)M&A案件の調査や精査と受諾・運営に向けた行動並びに職員寮の整備の推進
- 全事業の加算要件や各種補助金要件を確認し、加算や補助金の取りこぼし「0」を達成する

【差別化/付加価値】
- GenkiGroup式ケアの新たな導入と浸透について四半期ごとに進捗確認と評価と共有(全拠点シルバー以上獲得)
- 栄養士チームが主軸となり美味しい食の追求や、アクティビティ・イベントの多様化と質の向上
- 日々お客様が楽しむ様子をSNSやHPの施設日記にてリアルタイムの発信と全拠点毎月の広報誌発行と内容精査

【組織力向上】
- ブロック及び各施設担当者の体制構築によるグローバルコミュニティチームの活動(生活支援から資格取得、外国人リーダーの育成や配置に向けた取組み)と、国際人材育成施設(いちかわ翔裕園)の設立による幅広い支援の実施
- 次世代を担うリーダーへアクティブ人事を通して様々な経験を積めるようにOJTや異動も行いながらオールラウンダー職員を育成
- 内部点検やブロック間点検を点検できる人材を育成することで法令遵守の体制構築と強化
- クレド浸透研修と組織力ややりがい向上の取組みを確実に実施し、ES調査は全施設がグレカンゾーンを2年連続達成
- 新卒職員は入職時研修と3ヶ月間の鎌ヶ谷翔裕園でのトレーニング等の育成プログラムによる教育
- 福利厚生の充実(千葉ロッテマリーンズ年間シート確保・BBQ大会開催・職員記念日ギフト・各拠点懇親会等)
- 長寿の里の年間離職率目標12%以下(令和7年度4月～12月の9ヶ月実績:常勤6.9%・非常勤12.8%合計10.5%)を必達

【採用力の強化】
- 長寿の里の新卒職員採用目標10名とした高校・専門・大学への訪問拡大や近隣中学校との交流促進
- 中途採用担当者を中心にエリアの賃金調査と採用媒体の新規導入やモニタリングの実施、全員人事を推進する
- 処遇改善金を活用した処遇見直し(資格手当や働く時間・曜日に応じた手当増額とエリア毎の柔軟な手当額設定)

【生産性の向上】
- クックフローズンの食事提供に向けたハード・ソフト面の設備や体制の整備と実施及び次施設への展開
- CDCと各種機器の連携とそれによる生産性向上の測定とブロック内への横展開
- 全拠点の各種介護等記録ソフトからケアテクへの移行と定着・標準化
- AI推進担当者を中心に各拠点へのAI活用の教育や支援を行い法人全体にAI活用の浸透を推進
- 施設ハード面の見直し改修の実施によるお客様・職員の満足度向上

【地域貢献】
- 認知症カフェ開催や子供食堂等地域イベントへの参加や協力と自治会等との交流による地域活性や相談窓口的な役割を担う
- 地域との防災協力構築と災害時の要配慮者受け入れ、夏祭りや翔裕園の日のイベント開催による地域への還元を実施
- 地域の小中学校等の職場体験の積極的な受入れや授業の講師を通して福祉の世界で働く次世代へとつながるように行動する

【その他】
- 法人の枠を超えたグループ施設等への運営サポートを通した幅広い支援の実施と支援を通して自己成長に繋げる
- ブロック法令遵守担当者による自主点検や内部点検表を用いた内部監査を年1回現地にて実施し適正な施設運営
- 熱中症対策強化による体調不良者「0」の達成と、自然災害・感染症事業継続計画への取組の推進
- 全拠点の予算目標とブロック全体の離職率目標を達成した際にインセンティブを支給する

現状の課題・問題

令和8年度　鎌ヶ谷翔裕園事業計画書

（単位：千円）

令和7年度実績	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	785,527	103,285		9,200			898,012
サービス活動費用	759,752	92,087		5,325			857,164
サービス活動増減差額	25,775	11,198	0	3,875	0	0	40,848
経常増減差額	17,425	11,198		3,875			32,498
経常増減率	2.2%	10.8%		42.1%			3.6%
令和7年稼働率							
部門ごとの売上目標達成度							

令和8年度年度予算	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	781,582	107,390		10,020			898,992
サービス活動費用	764,617	91,889		9,867			866,373
サービス活動増減差額	16,965	15,501	0	153	0	0	32,619
経常増減差額	9,886	15,501		153			25,540
経常増減率	1.3%	14.4%		1.5%			2.8%
稼働率目標							

月別利用率目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間目標
従来	R8目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	R7実績	98.4	96.2	96.5	97.4	96.2	95.1	97.4	97.4	99.2	99.7	99.5	97.5	97.5
ユニット	R8目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	R7実績	97.5	97.6	99.8	100.0	100.0	100.0	97.9	96.4	99.5	99.6	99.0	98.8	98.8
SS	R8目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	R7実績	100.0	100.7	100.0	96.2	97.9	96.5	101.1	94.8	99.0	97.1	101.1	98.6	98.6
デイ	R8目標	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0
	R7実績	98.6	99.5	98.9	97.9	97.8	96.5	94.0	95.8	90.5	88.1	90.0	95.2	95.2

基本方針	Grow Strong,Serve Long ！ 強く成長、長く奉仕
年度目標	①しっかりと差別化を図り、選ばれる施設となる ②ICT機器、福祉機器の導入で業務の効率化を図り、また業務負担を軽減する ③鎌ヶ谷市地域への地域貢献活動
今年度挑戦するGG式マニュアル	排せつケア→SILVER ノーリフティング→GOLD 収益改善→2度目のGOLD

重点目標と方策

①「差別化/付加価値をどのようなものをどのように作っていくか」

・いつでも本気・本物・本格の継続　・面会、外出の完全自由化　・食を通したQOLの向上　・ぱくぱくランチ定期開催
・年度末に賀寿お食事会開催　・入浴機器の入れ替え

②組織力の強化

・GG式ケアマニュアルへの挑戦　・観察、記録、報告の質の向上と異常の早期発見、迅速対応

・国際人材も安心して業務につけるサポート　・職員還元、福利厚生の提供　・ジョブローテーションの実施
→上記を実施し、入職1年未満の離職率10%以下に保つ

③「採用力の強化(面接力やマーケティング力含む)」

・国際人材の研修と文化交流　・介護体験、介護実習の受入れ
・近隣中学校との交流

④「生産性の向上(人員配置基準の中で人件費やシフトをどのようにコントロールするのか)」

・ケアキャンパスの浸透と活用で介護技術向上　・CDC導入に向けた活用方法の検証
・生産性向上推進委員会の設置

⑤「収益力向上」

・特養　目標稼働　96%　空床0日　事前調査済待機者5名以上確保　新体制と地盤固め
・ショート　目標稼働　100%　営業毎月100件　新規毎月5獲得　感染対策　居宅連携強化
・デイサービス　目標稼働　92%　営業毎月100件　新規毎月5件獲得　後方力の確保　個別、新ニーズへの対応強化
・感染症クラスターゼロ

⑥「地域貢献」

・学生との福祉コラボ　・地域行事への参加・交流　・地域交流スペースの更なる活用
・施設行事には積極的に地域の方を呼んで交流を図る　・自治会との合同防災訓練実施の継続

⑦「その他」

・チェック体制の強化
・本館ピカピカプロジェクト

令和8年度　鎌ヶ谷翔裕園　年間予定表

	主な行事	研修 内部	研修 外部	委員会・会議
				名称
				開催頻度
4月	花見	新卒研修	新卒研修	
	外出	ﾉｰﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ		
				4月
5月	端午の節句	理念浸透	救急救命講習	
		身体拘束廃止		
		虐待防止		5月
6月	菖蒲見学	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ		
	紫陽花見学	感染症（前期）		
				6月
7月	七夕	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ		
	夏祭り	新卒FU		
	避難訓練			7月
8月		夜間救急		
				8月
9月	敬老会	理念浸透		
	健康診断	BCP（災害）		
				9月
10月	翔裕園の日	身体拘束廃止		
	運動会	虐待防止		
				10月
11月	紅葉狩り	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	救急救命講習	
	芋煮会	感染症（後期）		
	避難訓練			11月
12月	クリスマス	BCP（感染症）		
	もちつき	地域防災		
	忘年会	理念浸透		12月
1月	初詣	苦情対応研修		
	新年会	ﾉｰﾘﾌﾃｨﾝｸﾞ		
				1月
2月	節分			
				2月
3月	ひなまつり	褥瘡予防研修		
	健康診断	理念浸透		
	避難訓練			3月

名称	褥瘡予防委員会	広報委員会	給食委員会	防災委員会	安全衛生委員会	身体拘束廃止委員会	虐待防止委員会	入所判定委員会	感染症防止委員会	納涼祭実行委員会	敬老会実行委員会	サービス向上委員会	従来型フロア会議	ユニット型フロア会議	デイ会議	リスクマネジメント委員会	地域交流推進委員会	インフルエンザ	栄養士部会	特養相談員部会	介護課部会	相談員部会	デイ相談員部会	安全対策委員会	ブロック経営会議
開催頻度	月1回	月1回	2ケ月1回	年3回訓練	月1回	年4回	年4回	月1回随時	3ケ月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	3ケ月1回	3ケ月1回	随時	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	年4回	月1回
4月	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
5月	○	○			○			○		○		○	○	○	○				○	○	○	○	○		○
6月	○	○	○		○			○		○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		○
7月	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
8月	○	○	○		○			○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○
9月	○	○			○			○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○
10月	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月	○	○		○	○			○				○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○
12月	○	○	○		○			○				○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○
1月	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月	○	○	○		○			○				○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○
3月	○	○		○	○			○				○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○

設備点検等

4月	水質検査	7月	水質検査（2回目）	10月	水質検査（3回目）	1月	水質検査（4回目）
	浄化槽清掃保守				利用者・職員健康診断		
					浄化槽清掃保守		
5月	消防設備点検	8月	浄化槽清掃保守	11月	インフルエンザ予防接種	2月	浄化槽清掃保守
	貯水槽清掃点検				浴槽用ろ過装置点検		
					消防設備点検（2回目）		
6月	エレベーター点検	9月	エレベーター点検（2回目）	12月	エレベーター点検（3回目）	3月	エレベーター点検（4回目）
	浄化槽清掃保守				浄化槽清掃保守		職員健康診断

備考	新規入職者に対しては、法定研修を含めた入職時研修を実施

令和8年度　行徳翔裕園事業計画

（単位：千円）

令和7年度実績	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益		119,404	264,734				384,138
サービス活動費用		104,371	255,165				359,536
サービス活動増減差額	0	15,033	9,569	0	0	0	24,602
経常増減差額		15,033	9,569				24,602
経常増減率		12.6%	3.6%				6.4%
令和7年稼働率		96.9%	97.3%				

部門ごとの売上目標達成度	
※※※部門	
通所部門	■■■■■■■■■□
GH・ケアハウス部門	■■■■■■■■■■
※※※部門	□□□□□□□□□□
※※※部門	□□□□□□□□□□
※※※部門	□□□□□□□□□□

令和8年度年度予算	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益		118,626	260,417				379,043
サービス活動費用		105,412	248,503				353,915
サービス活動増減差額	0	13,214	11,914	0	0	0	25,128
経常増減差額		13,214	11,914				25,128
経常増減率		11.1%	4.6%				6.6%
稼働率目標							

月別利用率目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間目標
入居	R8目標	98.2	98.3	98.3	98.0	98.0	98.0	97.8	97.7	97.7	98.0	98.0	98.0	98.0
	R7実績	98.4	98.3	99.1	98.6	98.9	98.1	94.6	94.7	93.5	96.5	99.1	97.3	97.3
デイ	R8目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.2	98.2	98.2	98.2	97.8	97.8	97.8	97.8	98.0
	R7実績	85.6	91.1	96.0	96.9	95.2	99.9	99.9	99.1	99.9	99.9	97.9	96.7	96.5
	R8目標													
	R7実績													
	R8目標													
	R7実績													

基本方針	多様性を力に、地域とともに進化する －Together in Diversity－
年度目標	『多様性を力に、地域とともに進化する-TogetherDibersity-』を基本方針とし、地域社会の変化やニーズに目を向けながら、デジタル技術の活用による業務効率化や情報共有の高度化を進め、地域に根差し安心してご利用いただけるサービス提供体制を構築します。また、共に働く一人ひとりが、グループ理念と方針を深く理解し、デジタルリテラシーの向上に努めながら、地域福祉の向上と安全で幸せな暮らしに貢献する活動に取り組みます。
今年度挑戦するGG式マニュアル	口腔ケアマニュアル 食事介助プログラム

重点目標と方策

①「差別化/付加価値をどのようなものをどのように作っていくか」

・『多様性を力に、地域とともに進化する-Together in Diversity-』を基本方針とした企画を立案し実施します。国際人材の躍推進、地域との連携強化、多様な価値観の視点を尊重し活かした企画を地域に発信します。毎月の施設内会議で各担当の進捗状況を把握します。

・GG式ケアプログラムについては、口腔ケアプログラムを引き続き実践し、新たに食事介助プログラムへ挑戦し、心身の健やかな生活の維持・向上へ向けて実践します。

②組織力の強化

・日々のクレド唱和の他、定期的な理念共有の場や対話の機会を設け、職員一人ひとりの共通理解と浸透を深め、日々の業務に主体的に反映できる組織づくりをします。

・毎月の会議にて年度目標の進捗状況を共有し振り返りを行い、目標に向けた実施内容を充実化させ、職員の達成感を高めます。

・職種や立場を超えた連携を強化し、相互に支え合える職場環境を整備し、離職率を低減します。

③「採用力の強化(面接力やマーケティング力含む)」

・理念、価値観に共感し、中核を担う人材の確保を目的とした採用活動を推進します。

・採用担当者と各課が連携し、一貫した理念、ビジョンの教諭と浸透を図り、入職後のギャップやミスマッチを防止します。

・経験や時間などの必要なターゲット人材を明確化した募集をおこないます。

・定期的にシミュレーション研修を開催し、面接力を向上します。

④「生産性の向上(人員配置基準の中で人件費やシフトをどのようにコントロールするのか)」

・職員一人ひとりが専門性を十分に発揮し、安心して業務に取り組めるよう、ITの活用および新たなシステム導入による業務改善と効率化を進めます。

・現行業務の可視化と課題整理を行い、送迎管理や事故・ヒヤリハット対応など、ITを導入し、業務の迅速化と効率化に繋げます。

・業務分担の最適化を進めることで、限られた人員の中でも効率的な業務ができる体制をつくります。

・計画的な教育期間の確保と、既存職員によるOJT体制の強化を行います。

⑤「収益力向上」

・個別性の高いケアや、身体機能維持・生活の質の向上に向けた取り組みを充実させ、サービスの付加価値を高め、お客様やご家族の多様なニーズに応えるサービス提供を通じ、利用満足度を向上し安定的な稼働を維持します。

・稼働に付随する各加算について適切な記録・加算要件を厳守し、各加算を確実に算定します。

・直接雇用への転換を積極的に推進し、派遣費やスポットワーク費を低減します。

（上期転換目標：派遣より1名、スポットワークより2名）

⑥「地域貢献」

・地域医療機関と連携し、予防接種会場の提供や健康相談や生活習慣改善セミナーなど、地域の方が気軽に参加できる「健康サポートの場」として、介護・医療・栄養の専門的な企画を実施し、地域住民の健康維持へ取り組みます。

・自治会や地域団体との交流を深め、施設行事への参加提案や地域イベントへ積極的に参加します。

・定期的な防災訓練や情報共有を通じ、ご入居や通所のお客様の安全確保と地域全体の災害対応力向上に取り組みます。

⑦「その他」

・感染症予防およびまん延防止対策を継続するとともに、事業継続計画（感染症BCP）の即応力を強化します。

令和8年度　行徳翔裕園　年間予定表

	主な行事	研修 内部	研修 外部	委員会・会議
				名称
				開催頻度

	主な行事	研修 内部	研修 外部	入居会議	通所会議	管理課会議	広報委員会	給食委員会	防災委員会	衛生委員会	口腔委員会	感染症委員会	看取り委員会	虐待防止委員会	事故防止委員会	身体拘束廃止委員会	コンプライアンス委員会	業務改善委員会	月例会議	ポスト会議	美化委員会	サービス担当者会議	医務課会議	納涼祭会議	敬老会会議	翔裕園の日	秋祭り会議	お花見会会議
				月1回	月1回	随時	第4水曜日	第3水曜日	第3水曜日	第4木曜日	第3水曜日	第4水曜日	第1水曜日	第2水曜日	第1水曜日	第1水曜日	第2水曜日	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	第2・3火	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回
4月	変り湯	・感染症																										
	桜まつり	・BCP(机上)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	世界のまつり																											
5月	変わり湯	・身体拘束虐待防止																										
	母の日	（前期）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	端午節																											
6月	変わり湯	・感染症																										
	父の日	（食中毒）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	果物狩り																											
7月	変わり湯	・救急対応																										
	七夕	・防災訓練		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	夕涼み会	・BCP(机上)																										
8月	変わり湯	・接遇																										
	夏祭り	・口腔ケア		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	西瓜割り																											
9月	変わり湯	・防災訓練																										
	敬老会	・BCP(机上)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
	防災の日	・BCP(シミュ)																										
10月	変わり湯	・身体拘束虐待防止																										
	翔裕園の日	（後期）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	ハロウィン																											
11月	変わり湯	・感染症																										
	秋祭り	・BCP(机上)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	世界のまつり	・BCP(シミュ)																										
12月	変わり湯	・苦情解決																										
	クリスマス			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○
	餅つき																											
1月	変わり湯	・事故防止																										
	新年会	・防災訓練		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○
	世界教育デー	・BCP(シミュ)																										
2月	変わり湯	・看取り																										
	節分			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○
	バレンタイン																											
3月	変わり湯	・法令順守																										
	ホワイトデー			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○
	家族懇談会																											

	設備点検等						
4月	エレベーター点検	7月	エレベーター点検	10月	エレベーター点検	1月	エレベーター点検
	害虫駆除		害虫駆除・定期清掃		害虫駆除		害虫駆除・定期清掃
			防災訓練		定期清掃		防災訓練
5月	エレベーター点検	8月	エレベーター点検	11月	エレベーター点検	2月	エレベーター点検
	害虫駆除		害虫駆除		害虫駆除		害虫駆除
6月	エレベーター点検	9月	職員健康診断	12月	エレベーター点検	3月	職員健康診断
	害虫駆除		害虫駆除・水質検査		害虫駆除		水質検査
			防災訓練				

備考	
	<研修>入職全職員対象：入職時研修とオリエンテーション <行事>手工芸・食事アクティビティ、変わり湯、通所・入居・地域などへの企画 <交流>近隣小中学校交流：不定期保育園交流：不定期　自治会活動への参加

令和8年度　いちかわ翔裕園事業計画書

（単位：千円）

令和7年度実績	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	550,458						550,458
サービス活動費用	494,585						494,585
サービス活動増減差額	55,873	0	0	0	0	0	55,873
経常増減差額	49,825						49,825
経常増減率	9.1%						9.1%
令和7年稼働率	97.0%						
部門ごとの売上目標達成度	特養部門					■■■■■■■■■■	
						□□□□□□□□□□	
						□□□□□□□□□□	

令和8年度年度予算	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	549,306						549,306
サービス活動費用	498,928						498,928
サービス活動増減差額	50,378	0	0	0	0	0	50,378
経常増減差額	45,005						45,005
経常増減率	8.2%						8.2%
稼働率目標	97.0%						

月別利用率目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間目標
特養	R8目標	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
	R7実績	96.1	97.6	99.5	97.8	96.6	98.4	99.2	99.4	99.5	96.9	98.7	98.1	98.2
	R8目標													
	R7実績													
	R8目標													
	R7実績													
	R8目標													
	R7実績													

基本方針	「Growing UP −with one heart−」
年度目標	1．専門性に特化した質の向上 2．離職率減・チーム力UP 3．地域に根付く施設
今年度挑戦するGG式マニュアル	口腔ケアプログラム ノーリフティングケアプログラム 食事介助プログラム

重点目標と方策

①「差別化/付加価値をどのようなものをどのように作っていくか」

・お客様一人ひとりの想いや夢に寄り添い、自律支援と生きがいづくりを軸としたケアと行事を展開する。
・アクティや作品展示、クラブ活動、地域との交流を通じて、ご家族・地域と繋がる施設づくりを進める。
・外出や外食、地域イベントへの参加など、施設内外での生活の広がりを大切にし、付加価値の創出に繋げる。
・食事を作ること・食べることを「楽しみ・生きがい」の一つとし、食の満足度向上を行う。
・GG式食事介助ケアプログラム・口腔ケアプログラムを活用し、食事介助の質を向上させるとともに、お客様の食事形態の維持と安心して食べる楽しみに繋げ、科学的介護（LIFE）による根拠に基づいた質の高いケアを提供する。

②組織力の強化

・多職種連携を基盤に、職種・国籍・年齢に関わらず互いを尊重し合えるチームづくりを進める。
・国際人材の教育・育成体制を整え、マニュアルやOJT、定期的な面談を通じて、業務理解とチームへの定着を行う。
・次世代、国際人材のリーダー育成に取り組み、キャリア形成を支援することで、離職率低下とチーム力向上に繋げる。

③「採用力の強化(面接力やマーケティング力含む)」

・ Web、SNS、求人媒体の見直しを行い、時短勤務や多様な働き方、国際人材の活躍事例を積極的に発信することで、施設の魅力が伝わる採用活動を行う。（国際人材の割合3割を目指す）
・将来的な新卒採用に向け、学生アルバイトを積極的に採用して人材確保と採用担当者の面接力の底上げを行う。
・将来の人材確保および職員の育成力向上を目的に、専門学校から実習生をの受入体制を整備する。

④「生産性の向上(人員配置基準の中で人件費やシフトをどのようにコントロールするのか)」

・GG式ケアプログラムの実践と科学的介護（LIFE）を活用し、ケアの質を維持・向上させ、業務の標準化と最大化を行う。
・研修報告書などを電子化し、提出、承認の効率化と受講状況の可視化を行い、生産性向上につなげる体制を構築する。
・介護DXの活用を進め、情報共有の迅速化や記録業務の負担軽減を行い、限られた人員で最大限のケアを実現する。
・排泄介助や福祉用具の活用状況をデータで共有し、外部業者とも連携しながらコストバランスの最適化を行う。

⑤「収益力向上」

・各事業所との関係性を構築し、目標稼働率97.0%、退居から入居までのタイムラグを3日以内、常時待機者3名を確保する。
・多職種および嘱託医と連携し、基本ケア・健康管理を見直すことで、入院者の減少と重度化防止に繋げる。
・看取りケアの質向上と信頼される最期の支援体制の構築を行うことで、空床期間の短縮にも繋げる。
・個別機能訓練加算、科学的介護推進体制加算（LIFE）、生産性向上推進体制加算Ⅱなどを取得して収益向上を行う。

⑥「地域貢献」

・地域イベントや防災訓練への参加に加え、学校や保育園との交流を通じて世代を超えたつながりを深め、日常的な関わりの中で地域の一員として顔の見える関係づくりを行い、SNSや広報物を活用して施設の取り組みを発信していく。
・自治会等と連携し、BCPに基づいた防災訓練や災害時協力体制を構築し、地域に信頼され支え合える施設づくりを進める。
・就労支援施設と連携し、イベントの実施を通じて相互支援体制を構築する。

⑦「その他」

・施設の環境面（ハード・ソフト）の見直しを行い、お客様・職員・地域の方が安心して利用できる施設環境の整備を行う。
・紙媒体書類を整理・削減し、順次電子化とデータ保存を進め、検索性向上と保管効率化を行う。

令和8年度　いちかわ翔裕園　年間予定表

	主な行事	研修 内部	研修 外部	委員会・会議 名称	感染症対策	褥瘡対策	事故対策	虐待防止身体拘束廃止委員会	BCP委員会	防災対策	安全衛生	口腔衛生	看取り委員会	ポスト会議	サービス向上委員会兼生産性向上委員会	ユニットリーダー	サービス担当者	ケアカンファレンス	食事サービス	入居検討会議	夏祭り	翔裕園の日	敬老祝賀会	秋祭り	開設記念日	施設広報委員会	クレド浸透委員会	GG式ケアプログラム推進委員会	地域交流委員会
				開催頻度	毎月	毎月	毎月	毎月	年4回	年3回	毎月	毎月	年3回	第1水曜日	第1水曜日	第2水曜日	毎月	毎週金曜日	毎月	随時	5月～8月	8月～9月	7月～9月	10月～11月	12月～2月	毎月	年2回	毎月	隔月
4月	お花見	新入職員	排泄介助	4月	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○							○		○	○
		緊急対応																											
5月	端午の節句	BCP・接遇		5月	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○					○		○	
	母の日	感染症・GG式																											
		虐待・身体拘束																											
6月	父の日	褥瘡予防	褥瘡予防	6月	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○					○		○	○
		感染症																											
		消防訓練																											
7月	七夕	事故予防		7月	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○				○		○	
		排泄ケア																											
8月	夏祭り	クレド		8月	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○
9月				9月	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○			○	○			○		○	
	敬老祝賀会																												
10月		BCP		10月	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○					○		○		○	○
	翔裕園の日	消防訓練																											
		虐待・身体拘束																											
11月	秋祭り	口腔ケア		11月	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○					○		○		○	
		感染症																											
		GG式																											
12月	クリスマス会	事故予防		12月	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○						○	○		○	○
	餅つき																												
	忘年会																												
1月	初詣			1月	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	
	新年会																												
	鏡開き	クレド																											
2月	節分		消防訓練	2月	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○		○	○
	バレンタイン																												
3月	開設記念日	消防訓練		3月	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○							○		○	
	ひな祭り																												
	ホワイトデー																												

	設備点検等						
4月	浄化槽水質検査	7月	浄化槽水質検査	10月	浄化槽水質検査	1月	浄化槽水質検査
			浄化槽法廷検査				電気月次点検
			電気月次点検				
5月	浄化槽水質検査	8月	浄化槽水質検査	11月	浄化槽水質検査	2月	浄化槽水質検査
	電気月次点検		エレベーター点検		エレベーター点検		エレベーター点検
	エレベーター点検		害虫駆除		電気月次点検		グリストラップ清掃
6月	浄化槽水質検査	9月	浄化槽水質検査	12月	浄化槽水質検査	3月	浄化槽水質検査
	特殊建物定期検査		電気月次点検		害虫駆除		電気月次点検
	受水槽点検		消防設備点検				消防設備点検

備考	職員健康診断　：　10月・3月　入居者健康診断　：　10月

令和8年度　かしわ翔裕園事業計画書

（単位：千円）

令和7年度実績	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	86,475	59,946			154,880		301,301
サービス活動費用	96,985	57,771			124,898		279,654
サービス活動増減差額	△ 10,510	2,175	0	0	29,982	0	21,647
経常増減差額	△ 15,570	2,175			29,982		16,587
経常増減率	−18.0%	3.6%			19.4%		5.5%
令和7年稼働率	93.3%	99.6%			4,915件／月		

部門ごとの売上目標達成度	
施設部門	■■■■■■■■■■
通所部門	■■■■■■■■■■
訪問部門	■■■■■■■■■■
	□□□□□□□□□□

令和8年度年度予算	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	85,813	59,949			151,388		297,150
サービス活動費用	103,470	56,486			121,540		281,496
サービス活動増減差額	△ 17,657	3,463	0	0	29,848	0	15,654
経常増減差額	△ 16,698	3,463			29,848		16,613
経常増減率	−19.5%	5.8%			19.7%		5.6%
稼働率目標	95.0%	98.0%			4,763件／月		

月別利用率目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間目標
有料	R8目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R7実績	95.3	96.4	95.8	97.3	89.1	88.6	98.3	95.4	90.7	89.8	97.2	94.0	94.0
サ高住	R8目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R7実績	99.2	96.6	91.6	86.2	93.2	96.5	93.7	88.8	92.5	91.0	92.0	92.8	92.8
訪問介護	R8目標	4,680	4,851	4,680	4,851	4,851	4,680	4,851	4,680	4,851	4,851	4,363	4,851	4,753
	R7実績	5,025	5,143	4,861	4,890	4,812	4,752	5,115	4,825	4,916	4,812	4,699	4,895	4,895
一般デイ	R8目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R7実績	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	97.6	99.9	99.9	98.8	99.9	99.6	99.6

基本方針	New Challenge ～未来に向けた新たな挑戦～
年度目標	①外部訪問の拡大 ②サービスの質の向上 ③地域との連携
今年度挑戦するGG式マニュアル	GG式ノーリフティングプログラム GG式転倒予防プログラム

重点目標と方策

①「差別化/付加価値をどのようなものをどのように作っていくか」

・入居サービスにおいて、介護保険サービスと介護保険外サービスも含めた「お値段以上かしわ」を継続します。
・デイサービスでは自主選択型アクティビティと機能訓練で、在宅生活が継続できるよう自立支援のサポートをしていきます。
・短時間看護師を配置し、健康管理を毎日実施します。また、重度化しても特養へ転居せず安心して生活できるよう、引き続き看取り介護の充実を図り、安心・安全に生活が送れるよう転倒予防にも注力していきます。
・デイ・入居ともにアクティビティの質の向上と食事のメニューの見直しを行うことで、満足度を高めます。

②組織力の強化

・理念研修や各種年間研修を通して職員一人ひとりが自発的に感動介護を体現し、ES調査で「グレカンゾーン」を達成します。
・訪問介護チームの組織体制の安定と、全職員との面談の機会（半期に1回以上）を確保します。
・施設全体で「ワンチームかしわ」の意識を継続し、半年に1回、懇親会を開催し離職率10%以下を達成します。
・各委員会や会議の開催、各種研修を通して、個人・組織全体のスキルを向上します。

③「採用力の強化(面接力やマーケティング力含む)」

・理容室や駐車場など近隣地域への貼り紙を拡大し地域に根差した採用活動の継続と、全員人事で3名採用します。
・職員がやりがいを感じて、お客様とともに楽しみ笑顔で介護を実践していることが伝わる見学や面接を行います。また、毎月発行の広報誌や毎日更新の施設日記を活用し、魅力の発信を行います。

④「生産性の向上(人員配置基準の中で人件費やシフトをどのようにコントロールするのか)」

・訪問介護は徹底したルート管理による無駄のない職員配置を行い、住宅型有料・サ高住や内部・外部でのクロスシフト可能な職員を増やし、人件比率は75%以内に留めます。
・ICTによる生産性向上の土台としてWi-Fi環境を整備し、切れ目ない施設内ネットワークの構築と、CDCと見守りカメラ等の活用によりサービス量の増加に対し職員配置を増員することなく動線の短縮と転倒骨折事故「0」を達成します。
・公式LINEを活用しイベント告知や連絡事項を迅速にご家族へお知らせします。

⑤「収益力向上」

・内部訪問回数を安定的に提供した上で、外部訪問拡大を進めて月平均450件以上を確保し、訪問介護センター全体で月平均4,750件以上を確保し収益力を高めます。
・持病の悪化以外の入院削減を目指し、転倒事故による入院を予防するためにGG式転倒予防プログラムを実施します。
・空床期間短縮のため、実調済みの待機者を常時2名確保します。

⑥「地域貢献」

・施設全体イベント開催時（年4回）に地域の方を招待し、気軽に立ち寄り相談できる存在となります。
・地域のボランティア団体や保育園児との交流を深め、施設イベントにも参加していただきます。

⑦「その他」

・元気グループ内住宅系施設に向けた「かしわ方式」の研修を開催します。

令和8年度　かしわ翔裕園　年間予定表

	主な行事	研修 内部	研修 外部	委員会・会議 名称	ポスト会議	訪問介護	フロア会議	給食会議	広報会議	安全衛生委員会	業務継続計画委員会	防災対策委員会	生産性向上委員会	事故対策委員会	虐待防止委員会	身体拘束廃止委員会	感染症予防委員会	GG式実行委員会	看取り委員会	褥瘡予防委員会	夏祭り実行委員会	敬老会実行委員会	翔裕園の日実行委員会	秋祭り実行委員会					
				開催頻度	月一回	月一回	月一回	月一回	月一回	月一回	六月一回	四月一回	四月一回	三月一回	三月一回	三月一回	三月一回	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時					
4月	誕生日会（毎月）	BCP	随時	4月	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○												
	お花見																												
	BBQ																												
5月	バラ見学	身体拘束		5月	○	○	○	○	○	○								○			○								
	端午の節句	虐待防止																											
	母の日																												
6月	あじさい見学	感染症予防		6月	○	○	○	○	○	○		○							○	○	○	○							
	父の日	防災																											
	スポーツ大会																												
7月	七夕	事故対策		7月	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○						
	土用の丑の日																												
	海のデザート																												
8月	夏祭り			8月	○	○	○	○	○	○			○					○				○	○	○					
	かき氷																												
	アクセサリー																												
9月	敬老会			9月	○	○	○	○	○	○													○	○					
	お月見																												
	おはぎ																												
10月	翔裕園の日	身体拘束		10月	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○							○					
	運動会	虐待防止																											
	ハロウィン	防災																											
11月	秋祭り	感染症予防		11月	○	○	○	○	○	○								○	○	○									
	紅葉狩り																												
	紅葉イベント																												
12月	クリスマス会	BCP		12月	○	○	○	○	○	○	○		○																
	忘年会																												
	餅つき																												
1月	新年会	事故対策		1月	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○												
	初詣																												
	鏡開き																												
2月	開設記念	法令遵守		2月	○	○	○	○	○	○		○																	
	節分	防災																											
	バレンタイン																												
3月	ひな祭り			3月	○	○	○	○	○	○																			
	ホワイトデー																												
	買い物イベント																												

設備点検等

4月	床面清掃	7月	水質検査	10月	床面清掃	1月	
					職員健康診断		
5月	エレベーター点検	8月	エレベーター点検	11月	エレベーター点検	2月	エレベーター点検
	グリストラップ清掃		床面清掃・洗浄作業		インフルエンザ予防接種		床面清掃
	害虫駆除・受水槽清掃		害虫駆除		害虫駆除		洗浄作業
6月	床面清掃	9月	消防設備点検	12月	職員健康診断	3月	消防設備点検
			グリストラップ清掃		床面清掃		職員健康診断
					グリストラップ清掃		

備考	

令和8年度　ふなばし翔裕園事業計画書

（単位：千円）

令和7年度実績	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	489,797	43,109			47,956		580,862
サービス活動費用	472,927	33,984			31,729		538,640
サービス活動増減差額	16,870	9,125	0	0	16,227	0	42,222
経常増減差額	10,493	9,125			16,227		35,845
経常増減率	2.1%	21.2%			33.8%		6.2%
令和7年稼働率	94.5%	94.8%			971件		

部門ごとの売上目標達成度	
施設部門（SS含む）	■■■■■■■■■□
通所部門	■■■■■■■■■■
訪問部門	■■■■■■■■■■
※※※部門	□□□□□□□□□□
※※※部門	□□□□□□□□□□
※※※部門	□□□□□□□□□□

令和8年度年度予算	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	497,353	42,921			49,381		589,655
サービス活動費用	479,978	31,071			35,815		546,864
サービス活動増減差額	17,375	11,850	0	0	13,566	0	42,791
経常増減差額	11,020	11,778			13,565		36,363
経常増減率	2.2%	27.4%			27.5%		6.2%
稼働率目標	96.0%	95.0%			956件		

月別利用率目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間目標
特養	R8目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	R7実績	93.9	94.1	93.3	95.5	95.0	95.5	97.6	93.1	90.9	93.2	95.5	94.5	94.3
SS	R8目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	R7実績	117.0	110.0	109.3	105.4	111.9	112.3	98.7	103.7	104.2	123.7	99.0	108.0	108.6
一般デイ	R8目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R7実績	93.1	93.7	95.1	95.2	92.8	96.8	91.7	92.9	98.6	97.2	95.0	94.8	94.7
訪問	R8目標	960.0	980.0	960.0	1000.0	1000.0	980.0	1000.0	970.0	980.0	950.0	880.0	980.0	970.0
	R7実績	912.0	935.0	944.0	1027.0	1009.0	1023.0	1053.0	976.0	1003.0	948.0	880.0	971.7	973.5
居宅	R8目標													
	R7実績													

基本方針	Think Positive,Try Bold 前向きに考え、大胆に挑む
年度目標	①人、機器、データをつなぐ科学的介護の推進 ②次世代リーダー、国際人材の育成と成長促進 ③元気で幸せの「共生の街」づくり
今年度挑戦するGG式マニュアル	①排泄ケアプログラム ②認知症ケアプログラム

重点目標と方策

①「差別化/付加価値をどのようなものをどのように作っていくか」

・各月のイベントやリズム体操、ご家族や地域参加型イベント、クラブ活動を年間計画に沿って企画・準備・実施することや、お客様に合わせた身体機能訓練と趣味・日常生活動作を組み合わせた多彩な機能訓練メニューを展開し、他施設との差別化を図る

・GG式認知症ケアプログラム、排泄ケアプログラムを導入し、職員一人ひとりが根拠に基づくスキルを習得し、展開することで、お客様が安心して日常生活を送ることができる環境を構築する

②組織力の強化

・職員の専門スキル向上、理念の共有を通じた働きがいやモチベーションの向上に向け、各種研修を年間計画に基づき実施する

・誰もがわかりやすい、働きやすい環境を構築し、新人からベテランまでが、統一した質の高いケアを実践する

・次世代リーダーの育成（国際人材含む）に向け、指導力、マネジメントスキルを段階的に養い、視座を高め、生産性の向上やリーダーシップ力を強化するため、施設内外の活動へと幅広く参加をする

③「採用力の強化(面接力やマーケティング力含む)」

・働きやすさとともに、働きがい、チャレンジのできる環境を整え、職員の定着率向上をベースの考えとし、離職率10%以下とする

・全員人事をメイン採用経路とし、地域密着型の採用活動において、短時間勤務職員の採用に注力し、人員配置2.15：1とする

・施設内での具体的な取り組み内容（研修や生産性向上、地域活動等）について、求人掲載内容に明記し、採用率を高める

④「生産性の向上(人員配置基準の中で人件費やシフトをどのようにコントロールするのか)」

・施設、在宅部門が一つの運営体制として活動し、施設部門人件費率60%以内、在宅部門合算で61%代での運営を行う

・ケアデータコネクトを活用し、aamsやバイタルなどのデータを一元的に集約、連携、自動記録を行うことで、記録業務の削減と事故や入院予防など生産性を高める

・ケアプランデータ連携システム、情報発信ツール、AIケアプランを活用し、書類作成業務や共有時間などの事務負担削減をする

・施設全体での3M活動を実施し、日々の業務から、衛生用品、消耗品、水光熱量等における、全てのムリムダムラを抽出し、細分化、そしてカテゴライズすることで、様々な業務削減、時間削減、負担軽減、経費削減を行い、新たな時間を捻出する

⑤「収益力向上」

・全事業が目標稼働を必達する為、4事業が連携し、地域の支えとなるサービス事業として全事業安定した運営を行う

・新規加算として、生産性向上推進体制加算の取得をおこない、エビデンスに基づいたケアの実践とICT機器の活用、業務プロセスの見直しなどを通じて、介護サービスの質の維持、向上をさせながら、業務を効率化する

・予防可能な入院（脱水、転倒、誤嚥性肺炎、尿路感染、重症化など）を防ぐため、早期発見、早期介入、早期連携、早期調整、早期評価を施設全体で行う体制を構築する

⑥「地域貢献」

・「共生の街」として、地域の方が自然と施設に集まる、そして地域へ訪れる仕組み作りをおこなうと共に、これまで以上に、近隣の方々にも気軽に足を運んで頂けるよう、地域交流スペースの開放や認知症カフェの開催、地域住民向けの防犯講習等を実施する

・福祉専門学校からの実習生受け入れ、小中高大学生の職場体験の受け入れの他、学校訪問にて総合授業などを定期的に実施し、地域の子供たちや家族に高齢者施設を身近な存在として感じてもらい、地域に開かれた施設づくりを行う

⑦「その他」

・お客様、職員向けの熱中症対策を4月より開始し、室温管理システムなども検討し、適切に熱中症対策を実施する

・自主防災訓練を年3回（日中・夜間想定）以上実施し、BCP訓練については、机上訓練を交えながら年2回以上実施するとともに他施設、他ブロックでの消防訓練やBCP訓練、感染対策訓練などにも参加し、より訓練の精度を高める

令和8年度　ふなばし翔裕園　年間予定表

	主な行事	研修 内部	研修 外部
4月	花見	入職研修	身体拘束
		排泄プログラム	救命救急
			生産性向上
5月	端午の節句	虐待・身体拘束	ユニットリーダー
	母の日	口腔ケア	感染症
6月	父の日	感染症	栄養士
	紫陽花見学	排泄プログラム	ハラスメント
			生産性向上
7月	七夕	褥瘡対策	生産性向上
		事故防止	
		排泄プログラム	
8月	夏祭り	クレド	生産性向上
		接遇	
		排泄プログラム	
9月	敬老祝賀会	緊急対応	身体拘束
	防災訓練	排泄プログラム	生産性向上
		BCP対策	
10月	翔裕園の日	虐待・身体拘束	栄養士
	地域防災訓練	排泄プログラム	
	健康診断	BCP対策	
11月	秋祭り	感染症	ユニットリーダー
		排泄プログラム	感染症
12月	クリスマス	口腔ケア	ハラスメント
	餅つき	排泄プログラム	
1月	初詣	事故防止	救命救急
	鏡開き	排泄プログラム	
2月	節分	褥瘡対策	
	バレンタイン	排泄プログラム	生活相談員
3月	ひな祭り	排泄プログラム	接遇
	花見	BCP対策	
	防災訓練		

	委員会・会議 名称	ポスト会議	UL会議	虐待防止	身体拘束廃止	感染症対策	褥瘡対策	施設広報	防災・BCP	安全衛生	自律支援	口腔衛生	食事サービス	サービス担当者	ユニット会議	入居判定会議	夏祭り	敬老会	翔裕園の日	秋祭り	デイ会議	訪問会議	医務会議	GG式排泄		
	開催頻度	毎月	毎月	3か月毎	3か月毎	偶数月	毎月	毎月	偶数月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	随時	イベント前	イベント前	イベント前	イベント前	毎月	毎月	毎月	毎月		
4月		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○		
5月		○	○				○	○		○	○	○	○	○	○		○				○	○	○	○		
6月		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○		
7月		○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		
8月		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		
9月		○	○				○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		
10月		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○		
11月		○	○				○	○		○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○		
12月		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○		
1月		○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○						○	○	○	○		
2月		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○		
3月		○	○				○	○		○	○	○	○	○	○						○	○	○	○		

設備点検等

4月	汚泥抜き作業	7月	模擬負荷試験	10月	グリストラップ清掃 汚泥抜き作業	1月	
5月		8月	汚泥抜き作業	11月		2月	グリストラップ清掃 汚泥抜き作業
6月	消防用設備点検 エレベーター点検・害虫防除 グリストラップ清掃	9月	エレベーター点検 受水槽清掃・水質検査 厨房害虫防除	12月	消防用設備点検 エレベーター点検 厨房害虫防除	3月	エレベーター点検 厨房害虫防除

備考	電気設備管理業務（毎月）・浄化槽点検（毎月・2週間に1回）

令和8年度　香流川翔裕園事業計画書

（単位：千円）

令和7年度実績	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	118,588		100,000			60,554	279,142
サービス活動費用	132,282		81,004			59,258	272,544
サービス活動増減差額	△ 13,694	0	18,996	0	0	1,296	6,598
経常増減差額	△ 15,253		18,996			1,296	5,039
経常増減率	−12.9%		19.0%			2.1%	1.8%
令和7年稼働率							

部門ごとの売上目標達成度	
特養部門	■■■■■■■■■□
GH部門	■■■■■■■■■■
小規模部門	■■■■■■■■■□
※※※部門	□□□□□□□□□□
※※※部門	□□□□□□□□□□
※※※部門	□□□□□□□□□□

令和8年度年度予算	施設部門（SS含む）	通所部門	GH・ケアハウス部門	居宅部門	訪問部門	小規模部門	合計
サービス活動収益	112,670		100,292			63,614	276,576
サービス活動費用	131,515		81,000			61,082	273,597
サービス活動増減差額	△ 18,845	0	19,292	0	0	2,532	2,979
経常増減差額	△ 19,418		19,292			2,532	2,406
経常増減率	−17.2%		19.2%			4.0%	0.9%
稼働率目標							

月別利用率目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間目標
特養	R8目標	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
	R7実績	98.2	99.7	95.7	93.4	94.7	96.7	98.7	98.0	100.0	96.1	98.4	97.2	97.2
GH	R8目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R7実績	100.0	95.2	95.7	100.0	97.6	95.0	98.9	99.3	96.1	94.3	91.1	96.7	96.7
小規模	R8目標	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0
	R7実績	68.0	76.0	76.0	76.0	92.0	88.0	88.0	80.0	80.0	80.0	88.0	81.1	81.1
	R8目標													
	R7実績													
	R8目標													
	R7実績													

基本方針	FUN 楽しむ力で、一歩先へ！
年度目標	・経営の安定化 ・離職防止 ・施設の魅力発信
今年度挑戦するGG式マニュアル	【全事業】GG式認知症ケアプログラム 【特養】GG式ノーリフティングケアプログラム 【GH・小多機】GG式転倒予防プログラム

重点目標と方策

①「差別化/付加価値をどのようなものをどのように作っていくか」

・副主任が中心となりGG式各種ケアプログラムの浸透に取り組み、施設全体のケアの質を向上させます。特に認知症ケアについてはゴールド認定を達成します。

・各事業において家族会を開催し、お客様、ご家族、職員の交流の場を年1回以上開催します。ご意見を聴取し、サービスの改善に繋げます。

・多職種連携によりドリームプロジェクト毎月1件以上実施します。ご家族やボランティアの協力のもと、お客様の夢や希望を叶えま

②組織力の強化

・職員個人の目標と課題を把握し、目標達成と課題解決の支援を行い、職員が成長しながら長期間働くことができる職場にします。（離職率：10%以下）

・共に働く仲間に日常的に感謝を伝える習慣を根付かせ、互いを尊重し思いやりを持って関われる職場づくりを進め、協調性のある組織へと成長していきます。

・事業所間で交換研修を実施し、介護技術の向上と、クロスシフトに対応できる職員の育成を進めます。

③「採用力の強化(面接力やマーケティング力含む)」

・学卒1名以上採用を目標に、学生が施設の活動に参加する機会を作り、応募者を獲得します。ボランティアやアルバイトを募り、介護の仕事や施設の魅力を伝えていきます。

・ブログやInstagramに勤務中の職員の様子や研修の様子をアップし、風通しが良く働きやすい職場環境を求職者にアピールすることで応募を増やします。

・国際人材の活躍を支援し、将来のリーダー候補の育成と安定した雇用に繋げます。

④「生産性の向上(人員配置基準の中で人件費やシフトをどのようにコントロールするのか)」

・インカムやaamsの新規導入と入浴設備の改修により、業務効率と安全性を向上させます。

・AIを活用した文書作成や画像生成を標準化し、業務効率を向上させます。得意な人だけが使うAIから、全ての職員が使いこなせるAIに変えていきます。

・全事業を跨いだクロスシフトを促進し、時間外勤務や派遣職員の削減に取り組みます。

⑤「収益力向上」

・特養とグループホームは入院や退居後の空床を削減し、目標稼働率を達成します。入居待機者は各2名以上確保し、退居決定後に即新規入居できるよう準備します。【目標稼働率：特養97.0%、グループホーム98.0%】

・小規模多機能は訪問を中心としたサービス体制で登録者を常時21名以上維持します。宿泊ベッドは85.0%以上の稼働とし、収益を確保します。【目標稼働率：84.0%　目標営業件数：80件/月（入居と合同）】

・サービス体制を強化し、新規加算の算定により収益を向上させます。

⑥「地域貢献」

・認知症や介護に関する講習会を地域向けに開催し、地域福祉の拠点として信頼される施設を目指します。
・地域住民の交流の場として月1回の認知症カフェと年2回のマルシェを定期開催します。
・香流バンドの地域での活動を通じて、認知症への理解を深めるとともに、介護の仕事への関心を高めていきます。

⑦「その他」

・名古屋市内のサンガ各施設と連携を深め、名古屋エリアにおける協力体制を強化していきます。
・新たな媒体やツールを活用して広報力を高め、施設の認知度を向上させます。

令和8年度　香流川翔裕園　年間予定表

	主な行事	研修 内部	研修 外部	委員会・会議
				名称
				開催頻度
4月	お花見 マルシェ	接遇・マナー① 理念浸透		4月
5月	母の日 春の外出	身体拘束防止① 高齢者虐待防止① 救命救急講習①	区給食施設講習	5月
6月	父の日	感染症予防① 防災訓練①	認知症実践者研修	6月
7月	七夕 開設7周年	事故防止①		7月
8月	夏祭り	認知症ケア		8月
9月	敬老会	褥瘡予防① 防災訓練②	認知症実践リーダー	9月
10月	翔裕園の日 マルシェ	身体拘束防止② 高齢者虐待防止② 救命救急講習②	認定調査員研修 県メンタルヘルス	10月
11月	秋祭り 秋の外出	感染症予防② 防災訓練③	認知症実践者研修 県メンタルヘルス	11月
12月	クリスマス 忘年会	接遇・マナー② 看取りケア BCP①	名古屋市栄養士	12月
1月	初詣 新年会	事故防止②	社協キャリアアップ	1月
2月	節分 バレンタイン	口腔ケア BCP②	県小多機ケアマネ	2月
3月	雛祭り	褥瘡予防② 苦情対応		3月

名称	ポスト会議	食事会議	事故防止検討委員会	安全衛生委員会	感染対策委員会	身体拘束廃止委員会	高齢者虐待防止委員会	褥瘡予防委員会	入居検討委員会	防災委員会	運営推進会議	広報委員会	サービス向上委員会	夏祭り実行委員会	敬老会実行委員会	翔裕園の実行委員会	秋祭り実行委員会	特養ユニット会議	GHユニット会議	小多機会議	サービス担当者会議	医務課会議	GG式ケアプログラム会議		
開催頻度	月1回	月1回	月1回	月1回	3か月1回	3か月1回	3か月1回	2か月1回	3か月1回・随時	2か月1回	2か月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回		
4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○					○	○	○	○	○	○		
5月	○	○	○	○					△		○	○	○	○				○	○	○	○	○	○		
6月	○	○	○	○				○	△	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		
7月	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
8月	○	○	○	○				○	△	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9月	○	○	○	○					△		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
10月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		
11月	○	○	○	○					△		○	○	○				○	○	○	○	○	○	○		
12月	○	○	○	○				○	△	○		○	○					○	○	○	○	○	○		
1月	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○					○	○	○	○	○	○		
2月	○	○	○	○				○	△	○		○	○					○	○	○	○	○	○		
3月	○	○	○	○					△		○	○	○					○	○	○	○	○	○		

設備点検等

4月	エレベーター点検	7月	井水濾過装置点検 消防設備点検	10月	エレベーター点検	1月	井水濾過装置点検 浴槽用濾過装置点検 消防設備点検
5月	井水濾過装置点検	8月	エレベーター点検 貯水槽清掃	11月	井水濾過装置点検 予防接種	2月	エレベーター点検
6月	職員健康診断（夜勤） エレベーター点検	9月	特養入居者健康診断 井水濾過装置点検	12月	職員健康診断 エレベーター点検	3月	井水濾過装置点検 法定電気設備点検

備考	

令和８年度 （千葉・茨城・愛知）ブロック経営計画書

基本方針	**継承** **～For the next～**
年度目標	①生産性向上….人員配置2.5:1　CDCの運用　事務業務効率化 ②インターナショナルスタッフ（国際人材）の育成及びリーダー育成 ③法人基盤強化…世代交代をしながら法人基盤の更なる強化

重点目標と方策

NEXT50年に向けた新たな時代の扉を開く令和8年度の千葉茨城愛知ブロックは、『継承～For the next～』の基本方針のもと、次の時代、次の世代、次の地域の姿を見据え、これまでの強みをより磨き、新たなものを吸収して、さらなる進化への挑戦を続ける元気集団となります！

【収益力向上】
- ・ならしの共生クリニックやフォレストデンタル習志野と連携し医療の基盤整備を進めることで入院期間の短縮等による稼働向上
- ・在宅事業推進として訪問介護の提供エリア拡大と居宅との連携、及び入居サービスへの相談窓口的な存在
- ・新規事業等・・（千葉エリア）M&A案件の調査や精査と受諾・運営に向けた行動並びに職員寮の整備の推進
- ・全事業の加算要件や各種補助金要件を確認し、加算や補助金の取りこぼし「0」を達成する

【差別化/付加価値】
- ・GenkiGroup式ケアの新たな導入と浸透について四半期ごとに進捗確認と評価と共有（全拠点シルバー以上獲得）
- ・栄養士チームが主軸となり美味しい食の追求や、アクティビティ・イベントの多様化と質の向上
- ・日々お客様が楽しむ様子をSNSやHPの施設日記にてリアルタイムの発信と全拠点毎月の広報誌発行と内容精査

【組織力向上】
- ・ブロック及び各施設担当者の体制構築によるグローバルコミュニティチームの活動（生活支援から資格取得、外国人リーダーの育成や配置に向けた取組み）と、国際人材育成施設（いちかわ翔裕園）の設立による幅広い支援の実施
- ・次世代を担うリーダーへアクティブ人事を通して様々な経験を積めるようにOJTや異動も行いながらオールラウンダー職員育成
- ・内部点検やブロック間点検を点検できる人材を育成することで法令遵守の体制構築と強化
- ・クレド浸透研修と組織力ややりがい向上の取組みを確実に実施し、ES調査は全施設がグレカンゾーンを2年連続達成
- ・新卒職員は入職時研修と3ヶ月間の鎌ヶ谷翔裕園でのトレーニング等の育成プログラムによる教育
- ・福利厚生の充実（千葉ロッテマリーンズ年間シート確保・BBQ大会開催・職員記念日ギフト・各拠点懇親会等）
- ・ブロックの年間離職率目標12%以下（令和7年度4月～12月の9ヶ月実績：常勤6.9%・非常勤12.8%合計10.5%）を必達

【採用力の強化】
- ・ブロックの新卒職員採用目標12名とした高校・専門・大学への訪問拡大や近隣中学校との交流促進
- ・中途採用担当者を中心にエリアの賃金調査と採用媒体の新規導入やモニタリングの実施、全員人事を推進する
- ・処遇改善金を活用した処遇見直し（資格手当や働く時間・曜日に応じた手当増額とエリア毎の柔軟な手当額設定）

【生産性の向上】
- ・クックフローズンの食事提供に向けたハード・ソフト面の設備や体制の整備と実施及び次施設への展開
- ・CDCと各種機器の連携とそれによる生産性向上の測定とブロック内への横展開
- ・全拠点の各種介護等記録ソフトからケアテクへの移行と定着・標準化
- ・AI推進担当者を中心に各拠点へのAI活用の教育や支援を行い法人全体にAI活用の浸透を推進
- ・施設ハード面の見直し改修の実施によるお客様・職員の満足度向上

【地域貢献】
- ・認知症カフェ開催や子供食堂等地域イベントへの参加や協力と自治会等との交流による地域活性や相談窓口的な役割を担う
- ・地域との防災協力構築と災害時の要配慮者受け入れ、夏祭りや翔裕園の日のイベント開催による地域への還元を実施
- ・地域の小中学校等の職場体験の積極的な受入れや授業の講師を通して福祉の世界で働く次世代へと繋がるように行動する

【その他】
- ・ブロックの枠を超えたグループ施設等への運営サポートを通した幅広い支援の実施と支援を通して自己成長に繋げる
- ・ブロック法令遵守担当者による自主点検や内部点検表を用いた内部監査を年1回現地にて実施し適正な施設運営
- ・熱中症対策強化による体調不良者「0」の達成と、自然災害・感染症事業継続計画への取組の推進
- ・全拠点の予算目標とブロック全体の離職率目標を達成した際にインセンティブを支給する

現状の課題・問題